

With

J A 愛知厚生連広報誌

TAKE
FREE

秋

2026.Autumn

【No.511】



病院特集

足助病院



特集

地域とJAをつなぐ、
すこやかな毎日のパートナー

地域とJAをつなぐ、 すこやかな毎日のパートナー

～保健福祉事業部がサポートする「健康づくり活動」～



JA愛知厚生連 保健福祉事業部では、各JAが組合員や地域の皆様に向けて開催する健康管理活動を幅広くサポートしています。各JAのご担当者様と連携し、健康講話や各種教室への講師派遣をはじめ、イベント会場での健康ブース出展など、日々の健康意識を高める多彩なプログラムをご提供しています。「病気の予防」や「生活習慣の見直し」を身近に感じていただけるよう、医療専門スタッフが専門知識を分かりやすくお伝えします。

ご案内・
ご注意事項

本事業における講師派遣・ブース出展は、各JAが開催する健康管理活動を対象として実施しております。一般の団体・企業等への個別派遣は対応いたしかねますので、あらかじめご了承ください。

地域のにぎわいと健康をつなぐ | どなたでも参加できるイベント

まちかど健康チェック

JAの支店や直売所(産直市場)などの一角で開催しています。野菜摂取量測定(ベジチェック®)などを短時間で手軽に体験いただけます。



健康チェックブース

JAまつりや感謝祭などのイベントに健康ブースを出展しています。医療専門スタッフによる測定結果のフィードバックや、簡単な健康相談・アドバイスを実施しています。



保健師 健康増進支援グループ長
千坂 こずえさん

イベント
開催時には
ぜひお気軽に
お越しください！



実践的な知識を楽しく学ぶ | 組合員向け 健康管理活動

組合員の皆様の生活習慣病予防や食生活改善を目的とした体験型・参加型の教室を各種取り揃えています。健康管理活動の目的や対象世代に合わせたカリキュラムの提案と講師派遣を行っています。

健康講話

専門職による生活習慣病予防、季節ごとの健康管理(熱中症対策など)をテーマにした分かりやすい講話を行います。



栄養教室

管理栄養士による調理をしない参加型の食育講話です。知識の習得だけでなく体験により実生活に落とし込みやすい内容です。



管理栄養士
味岡 実咲さん

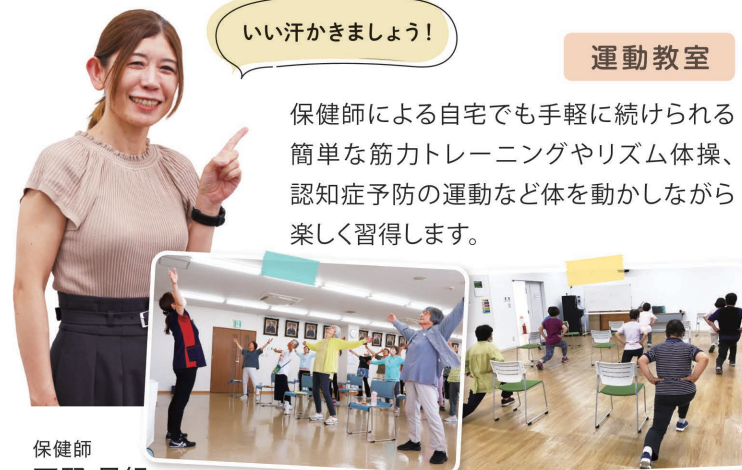
楽しく
学べます！



運動教室

いい汗かきましょう！

保健師による自宅でも手軽に続けられる簡単な筋力トレーニングやリズム体操、認知症予防の運動など体を動かしながら楽しく習得します。



保健師
天野 早紀さん

料理教室

管理栄養士による地元農産物を活用した健康レシピや減塩調理法など、毎日の献立にすぐ役立つ料理を調理実習スタイルで学びます。



公式Instagram「JA愛知厚生連 管理栄養士のキッチン」

JA愛知厚生連 保健福祉事業部では、健康づくりに関するJAへのさまざまな支援に取り組んでいます。“美味しく健康 楽しく料理”をモットーに、食の専門知識を持つ管理栄養士が作成した健康レシピや減塩レシピをご紹介します。

Instagramは
こちらから



ぜひフォロー&チェックしてみてください！



病院から、患者さんの「暮らし」の場へ。

— 足助病院が取り組む「訪問診療」の現場から —



「訪問診療」という言葉を聞いたことがありますか？

「名前は知っているけれど、実際どんなことをしているの?」「往診と何が違うの?」と思われる方も多いかもしれません。実は今、足助病院ではこの訪問診療にとても力を入れています。なぜ足助病院の周辺地域において訪問診療がそれほど大切なのか、実際の現場の様子とともに、足助病院のスタッフに聞いてみました!

Q1

足助病院で、訪問診療に力を入れるようになった背景を教えてください。

高齢化の現状

足助病院の診療エリアである豊田市の中山間地域では、高齢化率がすでに約45%で、そのうち85歳以上の割合は約12.6%となっています。

移動手段の問題

公共交通機関が限られ、車の運転を卒業した高齢者にとって「病院に通うこと」自体が大きな負担になっています。

「患者さんが病院に来られないなら、中山間地域の最前線にある病院として私たちが地域に出ていこう!」ということになりました。

地域医療福祉連携室長
ソーシャルワーカー
長谷川 支保さん



Q2

「往診」と何が違うのですか? どんなことをしてくれるのでしょうか?

症状のある時だけ依頼する「往診」と違い、「計画的に定期訪問して健康管理をする」のが訪問診療です。診察、処方、検査、処置など、病院で行う基本的な医療を自宅で受けられます。

足助病院は在宅療養支援病院として24時間365日対応!

足助病院は24時間365日連絡がつき、急変時にもスムーズに入院できる体制を整えているため、ご自宅での療養生活を安心して過ごしていただけます。

企画室長
日比 敦郎さん



Q3

訪問診療の1日の流れを教えてください。

1

8:30【事前カンファレンス】

本日の訪問先、注意事項を車の中でスタッフ間で共有します。



診療バッグの中身はこちら

この他に電子カルテと連絡用の携帯電話を持っています。

副看護部長
河合 喜代美さん

2

9:00【午前の訪問(1~2件目)】

山道を走り、患者さんのご自宅へ。診察だけでなく、「お家の環境」や「普段の過ごし方」も確認します。



3

13:30【午後の訪問(3~4件目)】

介護施設に入所されている方の健康管理も実施しています。



12:00
(昼休憩)

検査が必要になったら?

血液検査以外にも、心電図検査や超音波検査、レントゲン撮影も実施できます。訪問診療に同行したり、別日に改めてお伺いすることもあります。



レントゲン検査の解析にはAIを活用しています!



診療放射線技師

診療放射線室長
佐藤 美嘉代さん



臨床検査技師

4

16:00【帰院・カルテ作成】

病院に戻ってカルテ記載・処方せん発行など本日の経過をまとめます。



Q4

訪問診療を通じて皆さんが大切にしていることは何ですか?

超高齢化が進む中山間地域において、訪問診療のニーズは今後さらに高まると予想されます。病気だけでなくその人の「暮らし」に寄り添い、慣れ親しんだ自宅で自分らしく過ごす時間を支えることが私たちの使命です。足助病院はこれからも多職種や地域の皆様としっかり連携し、安心して在宅療養を続けられる医療体制の構築を目指して参ります。

足助病院のACP(人生会議)への取り組み

足助病院では、患者さんが望む療養生活を最期まで支えるとともに、元気なうちから希望する生き方や医療について一緒に考えるACPに取り組んでいます。(令和8年度は人生の最終段階について考える講座を年4回開催しています。)

診療部長 兼
地域医療福祉連携部長
正木 克由規さん



TOPICS
7~9月

Hot Topics

JA愛知厚生連のホットな取り組みをご紹介します

7/1 安城更生病院

新生児ドクターカー「きらり」更新お披露目式を開催しました。

7月1日、安城更生病院の新生児ドクターカー「きらり」の更新お披露目式を開催しました。2010年12月に「総合周産期母子医療センター」を開設し、24時間体制で新生児搬送に対応してきた旧車両「きらり」は、2026年3月末までの搬送実績は累計3,268件、総走行距離約75,000kmに達し、車両・医療機器の経年劣化が進んだことから全面更新に至りました。当日は安城市長・三星元人様をはじめ多くの来賓を迎え、テープカットや新車両の機能説明、車両見学を実施しました。



7/4 渥美病院

モニター会議を開催しました。



7月4日、渥美病院にて「令和8年度第1回モニター会議」を開催しました。本会議は、地域の皆様をモニターに迎え、病院運営への意見反映と情報発信を行う場として定期的に開催しています。今回は本年4月の「地域災害拠点病院の指定」を受け、吉田昌弘病院長が災害時における防災対策の強化や、地域の安全確保に向けた病院の役割について講演を行いました。講演後は2グループに分かれて意見交換を行い、より良い病院とするためのご意見やご要望をいただきました。

8/1 海南病院・豊田厚生病院・知多厚生病院

「中高生病院薬剤師セミナー2026」に本会3病院が参加しました。

8月1日、愛知県病院薬剤師会が主催する「中高生病院薬剤師セミナー2026」が開催されました。このセミナーには県内16カ所の病院が参加し、本会からは海南病院・豊田厚生病院・知多厚生病院の3病院が参加しました。当日は各病院を会場として病院薬剤師の仕事紹介や調剤・抗がん剤調整の体験プログラムなどを実施しました。参加者は正確性が求められる作業の難しさを感じつつも真剣に取り組み、病院薬剤師の役割や魅力について理解を深める貴重な機会となりました。



JA愛知厚生連のニュースは随時配信中

Webサイトはこちら



Instagramはこちら



8/5~8/9 安城更生病院・海南病院

熊本地震の被災地にDMATを派遣しました。

7月28日に発生した熊本地震の被災地支援のため、安城更生病院と海南病院は8月5日~9日、災害派遣医療チーム(DMAT)を派遣しました。安城更生病院のDMAT(医師1名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名の計5名)は熊本労災病院で救急外来の診療支援や転院調整に向けた情報収集にあたり、海南病院のDMAT(医師1名、看護師2名、臨床工学技士1名の計4名)はJCHO熊本総合病院で病院支援指揮所のサブリーダーを担い、災害対策本部の構築や転院支援にあたりました。



8/18 JA愛知厚生連

愛知県保健医療局への「要望書」の提出を行いました。



8月18日、愛知県保健医療局への「要望書」の提出を行いました。医療・介護人材の不足、医師の働き方改革への対応、医師の地域偏在など病院を取り巻く環境は極めて厳しい状況に直面しています。人口の少ない地域の医療を担う厚生連としては、今後も安定的に地域医療を維持していくために、医師が不足している地域への重点的な支援等を要望しました。愛知県の長谷川保健医療局長からは地域医療への貢献に対して感謝の言葉をいただきました。

夏休みに子ども向けイベントを開催しました。

病院の仕事を身近に感じていただき、将来医療の仕事に興味を持つきっかけになることを願って、地元のお子さまを対象に医療体験イベントを開催しています。稲沢厚生病院では、昨年の病院祭で好評だった「病院探検隊」を夏休みイベントとして初めて開催しました。

8/1 渥美病院

院内体験ツアー

8月1日、田原市の小学生15名を対象として開催しました。参加された皆さんは手術や調剤、顕微鏡での観察などさまざまな職種の仕事を経験して医療現場への理解を深めました。



▲手術体験の様子

8/7・10 知多厚生病院

中学生夏の医療体験

8月7日・10日、中学生48名を対象として開催しました。臨床工学技士の電気メス体験では、果物を用いて実際に切開を行い、医療機器の仕組みについて理解を深めました。



▲電気メス体験の様子

8/22 稲沢厚生病院

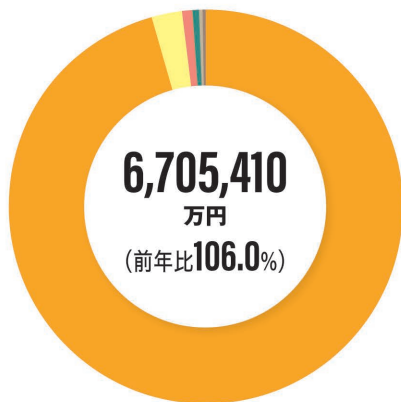
2026夏休み 子ども病院探検隊

8月22日、小学生の親子15組を対象として開催しました。普段は見られない手術室などの院内探検や医療体験を行い、子どもたちは目を輝かせながら、医療現場の魅力を楽しく体験しました。



▲医師による電気メス実演の様子

事業実績



事業実績(8月末)

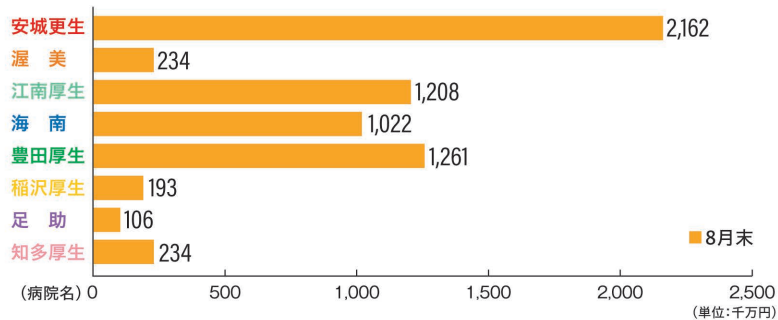
- 医療収益(除保健予防活動収益)
6,417,183(前年比106.1%)
- 保健予防活動収益
160,218(前年比107.3%)
- 老健施設運営収益
54,615(前年比98.8%)
- 介護医療院運営収益
9,763(前年比98.3%)
- 訪問看護収益
27,802(前年比107.1%)
- 老人福祉事業収益
27,506(前年比96.5%)

(単位:万円)

病院別患者数(単位:人)

病院名(ベッド数)	区分	患者数 通計
安城更生 (771)	外来	146,381
	入院	90,227
渥美 (302)	外来	45,483
	入院	28,654
江南厚生 (630)	外来	111,608
	入院	64,934
海南 (540)	外来	100,458
	入院	60,019
豊田厚生 (606)	外来	105,024
	入院	65,707
稲沢厚生 (225)	外来	44,315
	入院	22,248
足助 (148)	外来	20,934
	入院	13,753
知多厚生 (199)	外来	44,153
	入院	21,703
JAあいち健診センター	外来	76
合計 (3,421)	外来	618,432
	入院	367,245

病院別診療収入



JA愛知厚生連の事業所

各事業所のInstagramはこちら



秋

JA愛知厚生連広報誌「With」 No.511 発行日/2026年10月1日 発行/愛知県厚生農業協同組合連合会

編集/本部 企画管理局 経営企画部 TEL 0561-62-3162 本誌に掲載されている内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください。

Webサイト

